

- 1 ボール盤では、リーマ加工、中ぐり、座ぐりの作業が可能である。
- 2 NC(数値制御)工作機械は、複雑な形状や精度の高い加工ができない。
- 3 直流回路に電流 $I$ が流れるとき、抵抗 $R$ で消費される電力 $P$ は、 $P=IR^2$ で求められる。
- 4 60Hzで使用している誘導電動機を50Hzで使用すると、回転数は6/5倍になる。
- 5 シーケンス制御回路には、有接点方式と無接点方式がある。
- 6 予防保全とは、設備に故障が発見された段階で、その故障を取り除く保全活動である。
- 7 清掃、点検、給油、定期整備が容易な設備は、安全性がよいといえる。
- 8 一般的にダブルナット(二重ナット)では、先に厚いナットを締め、その上に薄いナットを締め付ける。
- 9 電動機が異常を起こした場合、巻線状況などの電気的な原因を調べればよく、軸受不良などの機械的原因は追求しなくてもよい。
- 10 パレート図は、工事の進捗状況を把握するために用いられる。
- 11 アルミニウムは、銅より熱伝導率が高い。
- 12 焼なましとは、焼入れした材料に粘り強さをもたらすために行う熱処理である。
- 13 クロムめっきは、表面硬化法に含まれない。
- 14 5S(整理・整頓・清掃・清潔・<sup>しつけ</sup>躰)の「整理」とは、必要なものと不必要なものを区分し、不必要なものを取り除くことをいう。
- 15 両頭グラインダは、砥石の側面を使用してもよい。

- 16 サーボモータに適した制御は、オープンループ方式である。
- 17 インバータは、電動機の過負荷や拘束状態の大電流による焼損を防止するために使用される。
- 18 光電センサは、主に光を出す投光部と光を受ける受光部から構成される。
- 19 コンデンサの合成静電容量を大きくするには、コンデンサを直列に接続する。
- 20 原子核は、陽子と電子で構成される。
- 21 交流回路における、インピーダンスの単位はオームである。
- 22 1秒間に1ファラッドの電荷が通過するとき、電流の大きさは、1アンペアである。
- 23 計数回路は、規則的なパルスを発信させることができる。
- 24 オペアンプは、入力信号を増幅する機能をもつ。
- 25 アナログ式回路計(テスタ)で電圧・電流を測定する際、適正なレンジが不明だったので最小測定レンジから順次上位に切り替えた。
- 26 地絡とは、2つの相、または3つの相の線間が負荷を通さずに接触した状態のことである。
- 27 圧着端子に記されている「2-6」は、6mm<sup>2</sup>の電線を用いて、2mmのねじで取り付けを意味する。
- 28 絶縁抵抗は、温度が上昇すると抵抗値が上がり、印加電圧が高いほど抵抗値が下がる特性をもっている。
- 29 ボールねじは、回転運動を直線運動に、または直線運動を回転運動に変換することができる。
- 30 JIS C 0617:2011(電気用図記号)において、下図は「PNP 型トランジスタ」の電気用図記号である。

